

## 2.3 観光関連

### (1) 観光用Wi-Fiフリースポット

#### ①概要

スマートフォンは若者や高齢者にも人気があり、これを所持する観光客が急増している。

そこで、空港・駅などの公共交通機関や商店街・温泉街、観光名所などに無料Wi-Fiスポットを整備して、観光情報の他に緊急時の災害情報の提供を行う。

#### ②特徴

- ・観光情報・イベント情報、商店街・観光施設情報、交通情報・災害情報の発信
- ・クーポン・チケットの発行
- ・ブログによる口コミ情報の登録
- ・多言語による情報発信

#### ③システム構成

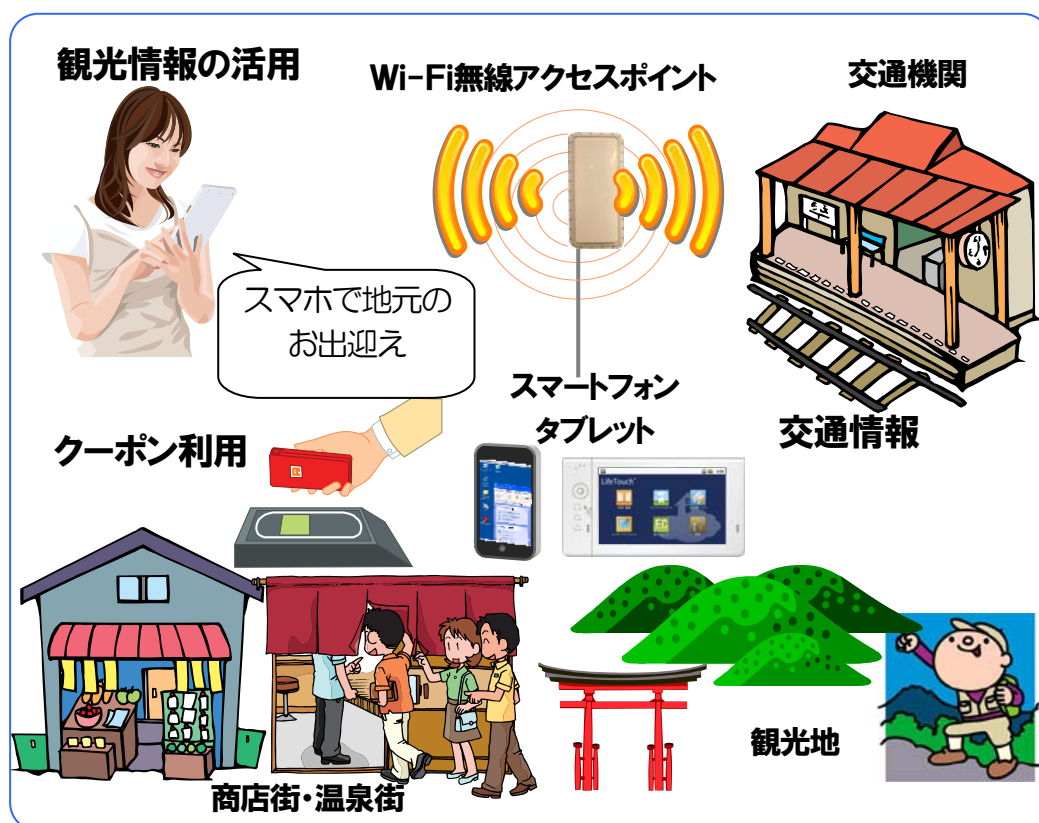


図 2.3.1 観光用Wi-Fiフリースポットのシステム構成

④効果

観光による町づくり、地域活性化が期待できる。

⑤維持管理の為にワーク

運営体制の構築。

⑥今後の可能性・応用展開

- ・防災・防犯などの安心安全な町づくり

観光客に対する防災情報提供や安否確認の利用にも展開可能となる。

また、防災無線代替システムとして、多様な災害情報伝達手段を補完する事が可能となる。

- ・介護・福祉への活用

Wi-Fiフリースポットをエリア拡大する事により、高齢者見守りサービス等をWi-Fi経由でもサポートが可能になる。

- ・内線IP電話の屋外利用

Wi-Fi経由により庁内内線電話の屋外利用が可能となる。

- ・監視カメラの多目的利用

Wi-Fi対応監視カメラ設置により、任意の箇所で不法投棄監視、防犯、火山監視、河川監視、鳥獣害監視、名所案内などの多目的利用が可能となる。

⑦システム導入の際に検討すべき課題

様々な情報を更新する運営体制が課題である。地場企業・観光協会やボランティア団体との協業・連携が重要となる。

## (2) デジタルサイネージ

### ①概要

観光用Wi-Fiフリースポットと連動して、スマートフォン等の情報端末を所有しない観光客向けには、大型表示パネルにビジュアル情報を表示して情報提供する。

### ②特徴

- ・屋外型および屋内型大型表示（双方向型）
- ・観光情報・イベント情報、商店街・観光施設情報、交通情報・災害情報の表示
- ・特典情報の提供、クーポン・チケットの発行

### ③システム構成



図 2.3.2 デジタルサイネージのシステム構成

### ④効果

情報端末を持たない観光客にも情報提供できる。

### ⑤維持管理の為にワーク

運営体制の構築。

### ⑥今後の可能性・応用展開

CM収入によりビジネスサイクルの構築が可能となる。

### ⑦システム導入の際に検討すべき課題

様々な情報を更新する運営体制が課題である。地場企業・観光協会やボランティア団体との協業・連携が重要である。

### (3) Webルートガイドサービス

#### ①概要

旅行者の個人ニーズに対応して、ICTを活用して自由な旅行計画の作成を支援する。車で移動する旅行者に対して観光Webサイトから、観光スポットを自由に選択してもらい、最適な移動ルートなど個別の旅行計画を作成して提供する。

また、作成した計画書は旅行先に持参できるよう印刷や利用者の携帯電話やスマートフォンに転送し、現地で携帯Webサイトから詳細な周辺情報を入手できる。

#### ②特徴

##### a. 最適な観光ルートを自動作成

旅行者はインターネット上の観光Webサイトから行きたい観光スポットを選択するだけで、地図情報と連携して移動距離や時間を計算して最適なルートを自動作成する（開発ベンダーにて特許出願中）。作成した旅行計画は個人のパソコンプリンタに印刷できる。

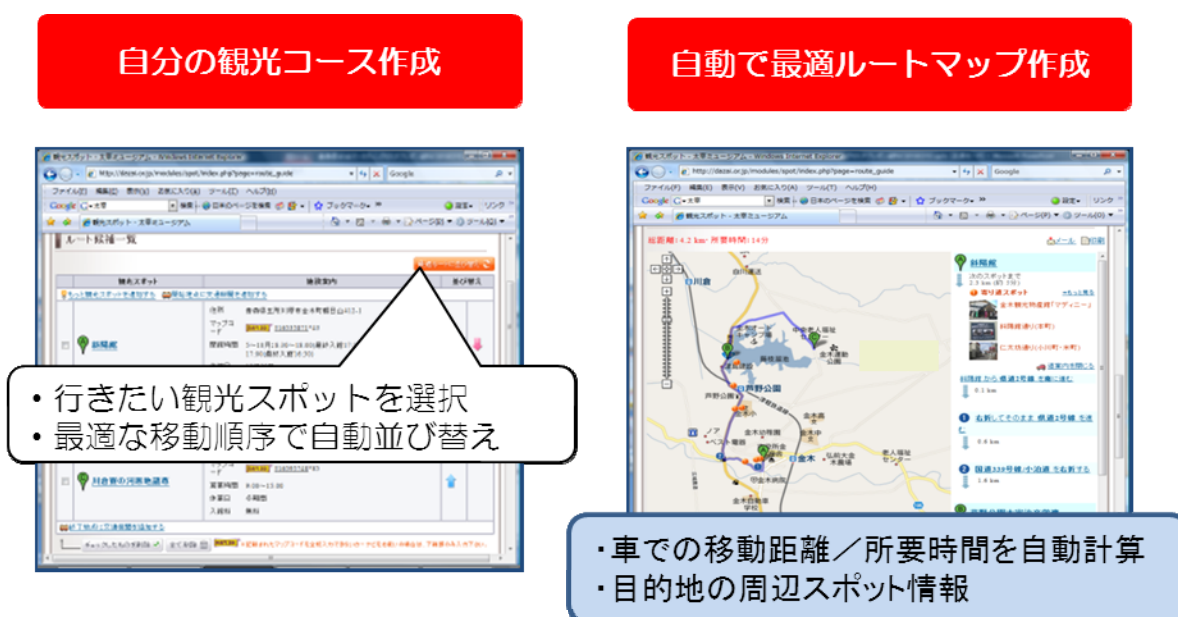


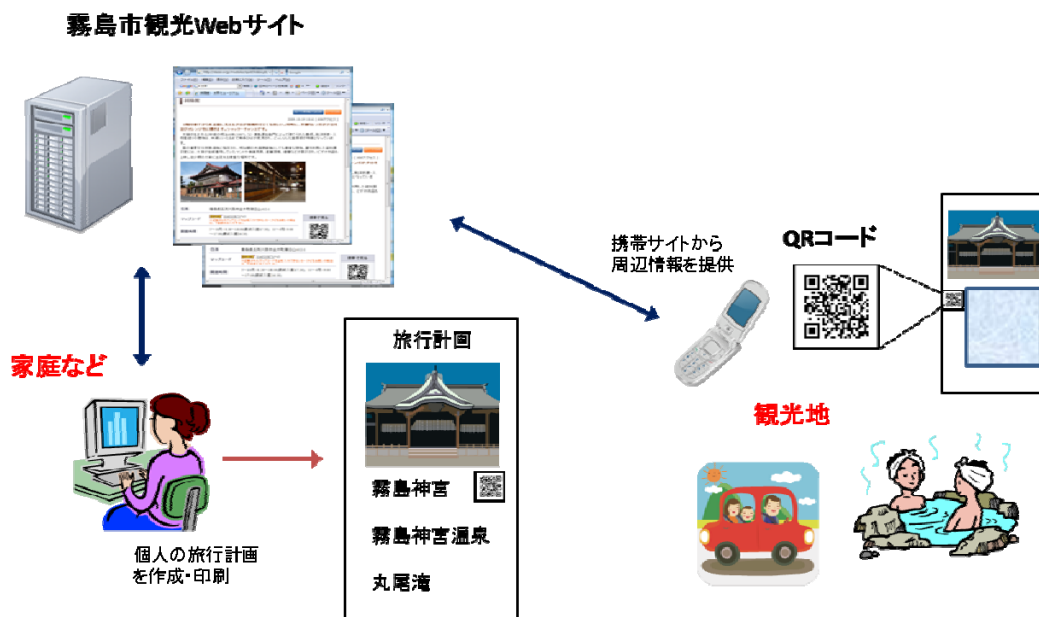
図 2.3.3 Webルートガイドサービスの利用イメージ

##### b. 携帯電話と連携した情報提供

旅行計画書に印刷されたQRコードを使って、携帯Webサイトから現地で周辺の観光施設、飲食店、商店などの周辺情報の提供を行う。

#### ③システム構成

このシステムは観光Webサイトのコンテンツの一つとして構成される。



#### ④効果

##### a. 旅行者の個人ニーズへの対応

旅行者の趣向や目的に即した個人旅行計画の作成支援を行うことで、個人や少人数グループなど新しい旅行客の開拓を期待できる。

市内の観光スポット間の移動は車に依存しており、最適な周遊ルートを提供することで、旅行者の利便性を高める。

##### b. 観光マーケティング情報の収集

利用者のログ情報から、観光スポットの訪問状況、観光客のリピート状況などマーケティング情報を収集することができる。また、任意で利用者に会員登録してもらうことで、割引クーポンなどの会員特典の提供や個人ニーズに対応した効果的なダイレクトメールの活用が可能になる。

##### c. 埋もれた観光資源の発掘

名所周辺の観光施設、名物、歴史などの周辺情報を積極的に情報提供することで埋もれた観光資源の発掘を行う。利用者の口コミ情報や訪問状況を観光サイトなどで全国に発信しPRする。

#### ⑤維持管理のためのワーク

##### a. Webコンテンツの作成・更新

観光スポットや周辺情報を紹介するWebサイトのコンテンツを作成・更新する。現地での情報提供も考慮し、携帯やスマートフォン向けサイトも充実させる。

b. 観光関連事業者管理

旅館、飲食店、観光施設などの事業者の対応窓口として、PR情報の収集、観光キャンペーンやイベントの企画などを行う。

c. 利用状況の集計・分析

利用者の登録管理、利用状況の集計、利用傾向の分析などを行う。

⑥今後の可能性・応用展開

a. 近隣エリアへの地域拡大

霧島市近隣の市町村や他県にもルートガイド作成地域を拡大し、利用者の利便性を向上させるとともに、観光振興の広域連携を図る。

⑦システム導入の際に検討すべき課題

a. Webコンテンツ管理体制

観光関連事業者と協調して、観光ガイドなどのWebコンテンツ作成・更新の体制を整備する。

b. 携帯利用可能エリアの検討・充実

旅行者の持参する携帯電話に情報提供するために、主な観光スポットで携帯利用可否を確認する。